

# CHALLENGE NEWS

# チャレンジニュース!!

知的障害者入所更生施設

多機能型福祉サービス事業所



チャレンジめいとくの里



サポートセンター めいとく

一発行  
社会福祉法人 明徳会  
〒861-5503  
熊本市明徳町707-1  
TEL(096)215-9101  
FAX(096)245-2344

今年のは、本当に寒い日が続きましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。  
さて、当法人では今年四月からの新体系移行に向けた最終準備を行っています。このままです。  
平成十七年四月に、入所更生施設チャレンジめいとくの里と併設でめいとくの里デイサービスセンターを開設し、今年で六年が経とうとしています。開設の翌年十月に障害者自立支援法が施行され、併設のデイサービスだけは、いち早く新法に沿ったサービスに移行し、名称を「サポートセンターめいとく」として再スタートしたわけです。

## 新体系移行について

理事長 樺嶋潤一郎

今年の冬は、本当に寒い日が続きましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。  
さて、当法人では今年四月からの新体系移行に向けた最終準備を行っています。このままです。  
平成十七年四月に、入所更生施設チャレンジめいとくの里と併設でめいとくの里デイサービスセンターを開設し、今年で六年が経とうとしています。開設の翌年十月に障害者自立支援法が施行され、併設のデイサービスだけは、いち早く新法に沿ったサービスに移行し、名称を「サポートセンターめいとく」として再スタートしたわけです。



### 移行五ヶ年計画で

は、まず職員配置について、先行して移行したサポートセンターを統合し、くと入所部門を統合し、続いてご利用者様も統合することにより、ニーズに合った多彩なグループ編成を行い、スケールメリットを生かした施設をつくるというものでした。

様々なご意見や混乱も多少ありましたが、その都度内部で議論し修正を行いながら、今年度は、ほぼ計画とおりの枠組みが出来上がり期限を一年余りして移行をすることが出来そうです。  
振り返ると、先行し移行したサポートセンターめいとくが新法のノウハウを伝えてくれ、今ではスタッフの中でも不安はあまり無いと思います。そして五ヶ年計画を行ったことで、ご利用者様の混乱や不安を最小限に留めることが出来たように思えます。と言いつつ、まだ四月になっただけではないので、これからが大変でしょうが...



### 振り返ると、先行し

様々なご意見や混乱も多少ありましたが、その都度内部で議論し修正を行いながら、今年度は、ほぼ計画とおりの枠組みが出来上がり期限を一年余りして移行をすることが出来そうです。  
振り返ると、先行し移行したサポートセンターめいとくが新法のノウハウを伝えてくれ、今ではスタッフの中でも不安はあまり無いと思います。そして五ヶ年計画を行ったことで、ご利用者様の混乱や不安を最小限に留めることが出来たように思えます。と言いつつ、まだ四月になっただけではないので、これからが大変でしょうが...

### 四月からは、障害者

支援施設「チャレンジめいとくの里」の入所部門と通所部門という形になります。支援内容等には今年度と大きな変化はありませんのでご安心下さい。  
また、昨今では公益法人の在り方を問う声がよく聞かれるようになってきましたが、社会福祉法人も例外ではありません。福祉を通して地域の人々のために貢献し、無くてはならない存在になるように今後も努力して参りたいと思っております。  
どうぞ、四月からの新しいチャレンジめいとくの里を宜しくお祈り致します。



**ゴミ袋販売**  
昨年の十月から熊本市ではゴミ袋が有料になり、当施設でもゴミ袋の販売を行っています。お気軽にご利用ください。  
【販売時間】  
月～土曜日の九時～十七時  
【販売場所】  
チャレンジめいとくの里 事務室  
(正面玄関から入り、右側にあります)  
※当施設の都合により、日曜日は販売しておりません。申し訳ありません。



**ボランティア募集**  
明徳会では様々な場面でボランティアを募集しています。  
●活動ボランティア  
日中活動をサポートしていただける方  
●フリーバーボランティア  
デイスコやイベントなどとにかくご利用者様と一緒に盛り上がりたてたい方、その他ボランティア大歓迎です。興味のある方、参加してみたい方は左記の連絡先まで気軽にお問い合わせください。  
TEL:096-215-9101  
MAIL:meitokunosato@yahoo.co.jp  
担当:中田 今井

**3月行事予定**  
2日(水): メイト外出日  
4日(金): ティスコ  
5日(土): サポート・日中一時休業日  
10日(木): きらいG外出日  
11日(金): ひまわりG外出日  
22日(火): くわのみ荘交流会(さくらG)  
24日(木): わかばG外出日  
27日(日): オハイ工熊本参加予定

**成人・還暦祝い**  
1/11(火)めいとく里では『成人・還暦祝い』を行いました。今回は成人お祝いとして通所の方1名、還暦お祝いとして入所の方1名をご利用者様皆さんでお祝いしました。



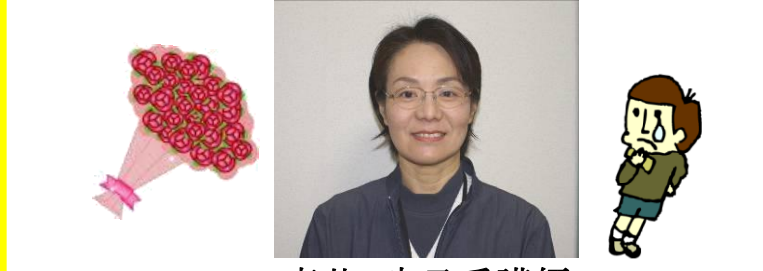
**めいとく福祉相談室**  
先日、障がい者雇用関係の研修会で企業、就労支援事業所、ハローワークの方のお話しを伺う機会がありました。企業では障がい者の方を雇用したことで、職場の雰囲気や人間関係が良くなった、「今では彼らは居なくては困る存在です」と、とても前向きでした。一人でも多くの障害者雇用につながることを願っています。  
(後藤)

**ありがとうございました。**  
葱 みかん お菓子 漬け物  
ドックフード  
【寄贈】  
ありがとうございます



**新任職員紹介**  
門田ひとみ 支援員  
毎日戸惑いで皆様には迷惑ばかりかけています。早く皆様の名前を覚え、「めいとく」の一員になれるよう頑張ります。  
村上里美 支援員  
不慣れでご利用者様等、ご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、皆様と楽しく過ごしていけるよう一生懸命頑張ります。

**退職者紹介**  
高井 良子 看護師  
大変、お世話になりました。ありがとうございました。



# めいとくで学んだこと職員奮闘記



生活支援員

藤原 直子

●所属:あおぞらグループ

●勤続:4年目

## はじめに

広報委員から「職員奮闘記をお願いします」と依頼され、他の職員が言っているように何を書けばいいのか悩んでしまいい、パソコンを打つ手が止まってしまいました。めいとくの里の支援員として働き出して四年目。もう四年!とびつくりしてしまいうぐらい時間が経つのは早いなあと感じます。せつかく機会を設けて頂いたので、私が福祉に進むことになったきっかけを書きたいと思います。

## 高校時代

高校二年の進路調査票。私は進学するつもりはなく、就職したい!と思っていました。そんな私が、進学したい、福祉を学びたいと思ったのは、高校時代に入部した吹奏楽部での訪問演奏がきっかけでした。

ある養護学校へ訪問演奏に行った時のことです。演奏会が終わったあとに養護

学校の生徒さんと一緒に食事をする時間がありました。私は重度の身体障害がある生徒さんと一緒に食事をさせて頂きました。一緒にご飯を食べた生徒さんたちが、みんな「すごかった!」「楽しかった!」「また来てね!」と言葉にならない声で一斉懸命伝えてくれました。その時の私は、なんて言っているのか分からず、一緒にいた先生に話していた言葉の意味を教えてくださいました。その時から、私の中で漠然と「福祉に関わる仕事がしたい」という思いが芽生えていきました。

環境に恵まれており、地元には福祉を専門とした大学がありました。高校三年、最後の進路希望で私は進学を希望し、福祉の大学へ行くことになりました。

## 大学での実習を通して

大学三年の時、初めて知的障害者施設へ実習に行きました。私は、内気で人見知りの性格のため、なかなか自分から積極的に話しかけることができませんでした。しかし、実習先で出会った皆さん



は、「こんにちは」「どこから来たの?」「今日から友達だね」と積極的に声をかけて下さいました。今まで知的障害がある方との関わりがなく、正直に言うことと実習前は少し怖いというイメージを持っていました。いざ、実習が始まると明るくて活発な方、少しおとなしい方、運動が好きで休み時間には毎回「怖い」という印象はなくなりました。

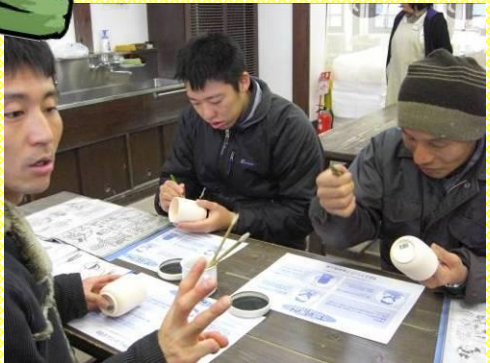
実習させていただいた施設では、パン作りや工芸など様々な作業に分かれています。それぞれの作業を実習させてもらう中で「これはこうするのよ」「や「こんなふうにはできないよ」とご利用者様からたくさんのご意見を教えて頂きました。いつもはふざけて、作業中もおしやべりが絶えない男性のIさんがいました。作業中もなかなか集中が続かない方だったので、パンの販売の際には表情が変わり、積極的に「パンはいいですか?」「はい、いくらです」としっかりとした顔つきでパンを販売されていました。いつもはおどけていたIさんだけど、自分たちが作ったものに誇りを持って、責任を持って販売しているのだと感じました。三週間の実習はあっという間に過ぎて行き、実習前の不安な気持ちもなくな気持ちもなくなっていく気が残

ついています。また、ご利用者様と接する職員の方も、いつでも笑顔で対応されていて施設全体が明るい印象を受けました。褒める時には褒める、注意する時には厳しく、休憩中は明るく皆さんと話をされている姿を見て、私も知的障害の方の施設で働きたいと思うようになりました。

## めいとくに入ってから

冒頭にも書きましたが、めいとくに入社して四年が経ちました。あつという間の四年間だったような気がします。四年の間に泣いたり、笑ったり、たくさんの方がいました。色んな人に迷惑をかけたこともあり、落ち込んだ時に励ましたり、励めてくれたのは、いつもご利用者様でした。「どうしたの?」「今日は元気ないね」「疲れたら休んでいいんだよ」と声をかけてくれる、優しいご利用者様ばかりです。

実習の時に憧れた職員さんのような優しくて厳しい支援員に私はまだ、なれないけれど、頼りになる先輩と一緒に笑いあえるご利用者様たちにたくさんのごことを学ばせていただきました。めいとくで学んだことを、支援としてこれからもご利用者様にお返ししていきたいと思



一月三十一日(月)~二月一日(火)に三井グリーンランド・佐賀方面に一泊旅行に行きました。旅行前には施設内でインフルエンザが流行し、旅行に行けるかどうか分からない状況が発前まで続きましたが、オゾン水の散布や手洗いという励行などが功を奏し、世間の罹患者数が増加する中、チャレンジめいとくの里ではインフルエンザが終息に向かい、無事旅行に行くことができました。

旅行初日から天気にも恵まれ、寒い思いをすることなくグリーンランドを楽しみました。

宿泊先のホテル桜は、嬉野温泉で一番目立つ建物で、温泉をゆつくり楽しみ、食事もおいしく頂きました。夜は寝ない方が多いのではと思っていましたが、グリーンランドでたくさん歩いたこともあってか皆さんグッスリ休まれました。

二日目は有田ポーセリンパークでの絵付け体験をおこないました。湯のみへの絵付けで、皆さん思い思いに文字や模様を描かれていました。完成までには一ヶ月半程かかるように、早く届かないかなと待ち遠しい日々を過ごしています。

寒い時期の旅行でしたので、出発前には色々気を揉むこともありましたが、終わってみると天気に恵まれた良い旅行だったと思います。

(園田)